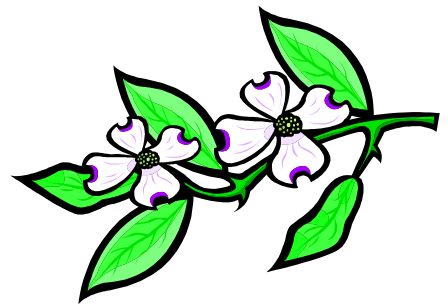


～2012年度 第1号～

通算 299号

SSKA まきのき



槇の木福祉を考える会編集

〒299-4403

千葉県長生郡睦沢町上市場693

TEL 0475(44)1212



目 次

未来へはばたく児童へ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

寮紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

今年度の槇の木学園・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

F r e s h E y e・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

ありがとう



未来へはばたく児童へ・・・ 園長 北山裕

新緑がまぶしい季節、爽やかな風の通り道である園庭を子どもたちが元気に遊んでいます。鯉のぼりが、ふわりと空に浮かんでいます。未来に届くように。

一、児童の夢を実現するために・・・

卒園がせまっている児童への支援に対する多数の職員の感想は、「緊張した・・・」「涙があふれてとまらない」「寂しい」「達成感・・・」とのこと。児童が成人になるまでに留意しなければならない点は多数ある。そして、障害のある児童の進路は三つに限られている。・「家庭に帰る」、・「グループホーム、生活ホーム、ケアホームに入居する」そこから就職先や障害福祉サービス事業所に通うこと。・「成人施設に入所する」等と未来はたいへん峻しい状況である。

その限られている「未来」への挑戦は、職員、父母等の周到な準備しだいである。しかも、未来を託すためには、納得がいかない施設見学の結果が多いようだ。児童が就職を決めることとは、職員の努力だけでは実現しない。千葉県障害者技術専門学校や特別支援学校の支援及び実習・体験先の深い理解によることが大きい。児童が、「未来」をつかむためには、本人が在学中に実習体験を通して、「働く」ということを意識し、意欲を助長することが課題となる。「働く」という気持ちを持続しながら、面接や試験の準備を本人とともにに行い。普段の生活からその人らしい魅力を引き出すために人物を磨くことにほかならない。

そうしたなかで、ここ数年は、福祉関係者の支援で卒園した児童は多数いる。「夢」を実現した児童に「がんばったね」とエールを送りたい。児童の就職とともに、「生活の場を切り開くこと」からはじまり児童の部屋を片付け、新たな生活の場に荷物を運ぶ引越しのとき、その子のうれしそう、しかも緊張した顔、担当職員のさびしそうな表情をたくさん見てきた。本当に結果が大切だと思う。槇の木学園の存在意義とは、誇らしげな子どもをたくさん作りだすことではないかと思う。

二、児童を生活と発達の主人公として・・・

二〇一二年度は、障害者自立支援法制等により、新体系移行の年で、知的障害児施設から福祉型障害児入所施設「槇の木学園」としなければならないが、今までどおり知的障害児の施設として運営していきたい。昨年と同様である運営目標のほかに、この新体系移行にあたり、児童と家族、地域の人々と共に成長できるための六つの実践を提案したい。

- (一)「児童（利用者）を生活と発達の主人公としてとらえる」
- (二)「障害のある児童等を中心に家族や専門家の役割を大切にする」
- (三)「能力主義・適応主義の障害観・人間観を乗り越える」
- (四)「児童が仲間のなかで育ちあう自治的な視点を大切にする」
- (五)「地域住民、市民とともに豊かな暮らしを築く」
- (六)「人間性を損なう効率化や合理化を進める制度・施策の克服を図る」

私たちは、障害福祉に身を投ずる備えるべき資格と覚悟を絶えず点検して、児童福祉のプロとして恥じない実践を行なう所存である。

寮 紹 介

【つばき寮】 担当職員：加藤、中西、井上
こんにちは。つばき寮です。
新・つばき寮のモットーはズバリ「明るく、楽しく、元気良く！です。
ひとりひとりが、笑顔でその子らしく育ていけるように、ご家族とともに子どもたちの育ちを応援していきたいと思っています。
さあ、今日も元気にがんばるぞ～☆



【はなみずき寮】

担当職員：鷹取、小嶋、荒井

はッピーで

なかよしな

みんなの

き**ず**な

きずいていこう！

【もくせい寮】 担当職員：嘉村、今井、杉山
「共に暮らす仲間を思いやろう、そしてチャレンジ！」
新しい環境の中、日々の生活に追われる毎日ですが、一日の中で、誰かのことを思いやる瞬間が一つでもあったら、素敵だと思います。
また、一人、ひとりチャレンジすることも大切にしたいです。
チャレンジすることで、生活の中での楽しみを沢山みつけていけたらと思います！1年、よろしくお願いします。

【ゆずのき寮】 担当職員：武宮、古川、三橋

- ・歌が大好き♪岩成和哉君(17)今日も笑顔で歌います！
- ・得意料理はチャーハン！佐藤裕麻君(17)大道芸もやってるよ♪
- ・工作大好き！西山和樹君(17)紙や段ボールで剣やロボット作っちゃう。
- ・運動大好き！橋本亜美さん(9)部活も大道芸も笑顔で楽しくやってるよ。
- ・遊ぶのが大好き！鶴岡佑喜人君(7) 【もうすぐ8歳になります♪】 毎日汗だく泥だらけ。皆一緒に遊ぼうよ♪

笑い声の絶えないゆずのき寮。泣いたり喧嘩もするけれど、いっぱい笑っていっぱい泣いて、助け合い、慰め合い、楽しく生活しています。



【秋場寮】 担当職員：秋場、玉川

秋場寮では、昨年度に引き続き、3人の男子が毎日元気に生活しています。また今年度からは、支援職員として新たに玉川が加わりました。

それぞれが目標に向かって努力していくとともに、穏やかに楽しく過ごせる寮にしていきたいと思っています。1年間よろしくお祈いします。

【麻生寮】 担当職員：麻生、玉川

昨年度から引き続きメンバーは変わらず、女の子3人です。

3人とも生活スタイルやペースは違いますが仲良く暮らしています。

お互いを思いやりながら、それぞれが自分の時間を有意義に使ってのびのびと暮らせるような寮にしていきたいと思ひます。

今年度の槇の木学園は

主任指導員 永森朋之

昨年度途中から地域生活寮が一つ増えましたが、その寮が継続され、今年度は敷地内生活寮が四寮、地域生活寮が二寮でのスタートです。

寮の数は変わりませんが、寮間での子どもの移動や職員の異動がありましたので、心身共に新たなスタートとなりました。

子どもの寮移動は本人達にとっては大きな生活の変化と言えます。建物や自室はもちろん周りの仲間や職員の顔ぶれまでもが変わるのですから、その変化に戸惑いが生じて無理ありません。

人の入れ替わりによって仕方がない、というのは職員側の言い訳ですから、子ども達ができるだけスムーズに生活できるように注意していきたいと考えています。

とは言っても、大人の心配をよそに子ども達は元気に過ごしていますので、保護者の方々のご安心ください。また、何か気が付かれたことがあれば遠慮なく申しつけてください。

さて、槇の木学園は児童福祉法改正に伴い、名称が「知的障害児施設」から「福祉型障害児入所支援施設」に変更となります。制度の改正は子どもの預かり知らない面ですから、それによって不利益があってはいけないわけです。肩書が変わっても、私たち職員は今までと同じ気持ちを持ち続け、「子ども達のために」という志を忘れずにいきたいと考えています。そのために日頃の子どもの様子をしっかり見て、声に耳を傾け、より良い関わりができるように（時に一緒に笑い、時に一緒に泣き、時には叱ることもあるでしょう）自分自身を磨いていきたいと思っています。

F r e s h E y e



みなさん、はじめまして。今年度 4 月から槇の木学園の職員としてゆずのき寮にお世話になっている、古川 祐衣（ふるかわ ゆい）と申します。

槇の木学園に来る前は、短大卒業後、同法人の成人の方が通う施設でお仕事をさせていただいていました。未熟な私が自分よりも年上の方々と一緒に作業をし、暮らしのお手伝いをさせていただく中で、誰かの支援をすることの難しさを感じました。

槇の木学園に来て 1 ヶ月ちょっと。成長真っ盛りの子どもたちの生活に関わらせていただくということは、一人ひとりの今後の人生に大きく影響することもあり、大切な時期に関わらせていただいていると感じ、とても責任が重く、貴重なことだと思います。

しかし、まだまだ慣れない日々で、子どもたちとの関わりも失敗ばかりです。至らない点がたくさんあると思いますが、子どもたちと泣いたり、笑ったり、悩んだりしながら一緒に成長していけたらいいなと思っています。よろしくお願いします。

（保育士 古川祐衣）

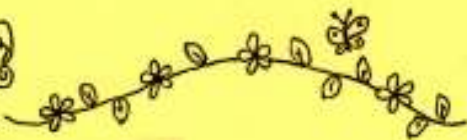


4 月からもくせい寮で勤務しています！杉山恭平（すぎやま きょうへい）です。学生の際は、保育の勉強をしていました。得意なことはテニスです。できないことだらけで、足を引っ張るばかりで……。これからもっと勉強して、子ども達にたくさんの事を教え、色々な経験をしてもらいたいと考えています。料理があまり得意ではないのですが食の面からも、子ども達をサポートできたらいいなと思い献立に悩む日々です！

これから、頑張っていくので宜しくお願いします。

（指導員 杉山恭平）

ありがとう



いつも沢山のご寄付やボランティアをしていただき、本当にありがとうございます。
皆様のご協力により、子どもたちはとても貴重な経験や、楽しい思い出ができました。
今回は平成24年3月~5月頃までのお名前を掲載させていただきます。(1頁不同)

ご寄付

浅野房雄様(寄付金)

ボランティア

きょうと様	大橋和久様
國馬光博様	秋山英範様
福島麻美様	加藤次郎様
田嶋みなみ様	古川幹雄様
鷺澤佐千子様	明德短期大
平渡由美子様	の皆さん



表紙紹介

もくせい寮の岡崎萌さんの作品です。
足型を主として、萌さんにペンを持ってもらい、手を添えつつ描いた作品です。
とてもしかりとした足ですね。
この足と共に一歩一歩、しかりと歩いて行きたいですね。



編集後記

新年度が始まりました。この4月から

「福祉型障害児入所支援施設・楨の木学園」となりました。肩書きは変わっても、子ども達に対する思いは変わらずに「子ども目線」で関わり、ていきたいと思えます。

制度の改正は子ども達の知らないところで行われ、決められていることですが、せめてその制度を子ども達に有文かに使っていくためには、私たちを「に」にいる大人がしかり子ども達も年度も見えていかなければなりません。改めて子ども達に「真摯」に接していかなければ、と決意したところです。



卒園おめでとう

菅原勝利くん 

新しいところでも元気に過ごして下さい。

楨の木福祉を考える会

編集責任者	永森朋文
鷹取鉄也	嘉村真由子
井上知紀	荒井美帆
杉山恭平	古川柘衣

